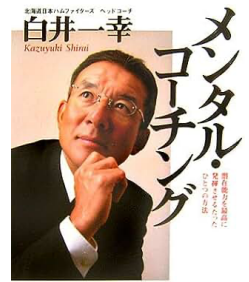


① 『メンタル・コーチング～潜在能力を最高に発揮させるたったひとつの方法』

指示・命令・恫喝では、部下の能力は発揮できない。部下が気づき、自ら動いたときにこそ能力が発揮される。指導者自らが、部下以上に部下の成長を願い、組織の成長を願う強い気持ちを持つ存在でなければならない。指導者の役割とは、まず部下の心を動かし、気づきを与えることである。「失敗して萎縮する部下の能力をどう発揮させるか」「裏づけのない部下の自信を本物の能力に変える方法とは」「新人とベテランの融合チームをどうつくるか」……。それらの答えはすべて「メンタル・コーチング」にある。ニューヨーク・ヤンキースにコーチ留学し、北海道日本ハムファイターズの日本一を支えたヘッドコーチが、ビジネス現場でも使える「メンタル・コーチング」を紹介する。

PHP研究所



② 『わが子を一流選手にするメンタル・コーチング』 PHP研究所

子どもを運動会のヒーローにしよう! 「子どもの足を速くする」「運動神経を高める方法」「ボールの上手な捕り方、投げ方」「距離感の養い方」のような、幼少期の遊びの延長線上にあるトレーニング。「少年スポーツの選び方」「プレッシャーの克服法」「弱点の伸ばし方」「苦手意識の克服」「スランプからの脱出法」「集中力の高め方」のような、小学校高学年～中学・高校生の親のできるサポートからチームの指導法まで。これまで常識とされてきた指導法とはまったく違う、元北海道日本ハムファイターズヘッドコーチが教える、親と指導者のためのテキストです。



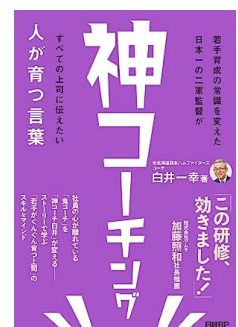
③ 『北海道日本ハムファイターズ流～一流の組織であり続ける3つの原則』 アチーブメント出版

祝・日本一! 1999年にチームを改革し、44年ぶりの日本一を達成! 2013年最下位へ転落したチームに舞い戻り、V字回復で再び日本一に。球団から再建を託された仕掛人が最下位チームの選手たちを日本一のメンタルに変えた球界では語られてこなかったどん底のチームを最強チームに育てる逆転の発想とは? プロ野球界で現役No.1のチーム再生請負人による最高のチームをつくる秘訣。「指導者として最も尊敬し、信頼するカズの指導論。私は今も学んでいます。絶対後悔させないこの1冊!」北海道日本ハムファイターズ監督 栗山英樹「本物の指導者は、チームの目標達成のため、いい人と思われるとか好かれるを捨てる覚悟が必要です。白井さんは本物です」株式会社今治・夢スポーツ代表取締役会長 岡田武史



④ 『神コーチング』 すべての上司に伝えたい育つ言葉 日経BP出版

本書は2つの要素で構成されており、1つは「育つ言葉集」。どんな職場でも、すぐにコミュニケーションの場面で使えるものを紹介する。もう一つは、昭和の古い指導スタイルをどうしても捨てきれない「鬼コーチ」と白井扮する「神コーチ」が「部下が失敗したときにどんな言葉をかければよいのか」など悩みに応える対話形式。上司は社員にどう指導するとよいかを始め、上司の意識転換の仕方を物語を通じて考えていく。ストーリーは「傾聴」「承認」「質問」というコーチングの要素



を踏まえながら展開。コーチングの体系を楽しみながら学べるので、コーチングを初めて学ぶ方・読む方にお勧め。楽天・アマゾンのコーチング部門でベスト1位になった評判の本。

⑤ 『答えは相手の中にある!』人は目指すところにしか行けない アチーブメント出版

「部下が言われたことしかやらない」「何度伝えても同じ簡単なミスを繰り返す」「すぐにパワハラ、モラハラと騒ぎ立てる」「組織の中で働かされている」「働いてあげている」という感覚は、大なり小なり誰もがもっているもの。多くの方がやらされているというスタンスからどうしても抜け出せずにいる。そういう人たちに指導者はどんな関わりができるのか? 選手育成にコーチングを取り入れた第一人者として北海道日本ハムファイターズをリーグ優勝3回、日本一に2回導いた《主体的に行動するハイパフォーマンス人材を育てる秘訣》《目標達成に向けて一致団結したチームをつくるために必要な理論と方法》を紹介! 野球界で結果を出してきた手法をビジネスに置き換えて指導者に必要な心構えからケース別の対応まで徹底解説!



⑥ 2023WBC侍ジャパンヘッドコーチが伝える『「心」の動かし方』 PHP研究所

2023WBC侍ジャパンの目的は「夢や元気、勇気を与えるプレーをし、野球の楽しさ、素晴らしさを次世代に伝えること」、目標は「世界一」。どのように選手が変わり、まとめ、成長して世界一を掴んだのか。ヘッドコーチ白井氏が選手とコーチ、監督との間で何を考え、行ったことは何か。それは白井氏のヤンキースへのコーチ留学にも遡り、その時に得た経験や知識、その後のファイターズ二軍監督時代の挑戦、そして一軍ヘッドコーチでの経験と44年ぶりに日本一の優勝まで辿り着いた軌跡の全てがあったからこそ成し遂げたことがわかる一冊。本書は野球選手から人材育成・チームビルディング講師として年間200日以上登壇する白井氏の遺言書のような内容である。



⑦ 侍ジャパンヘッドコーチの『最強の組織をつくるすごい思考法』 アチーブメント出版

アチーブメント出版からの3冊目の著書にあたる本書。1冊目の44年ぶりの優勝に至るまでの道のりから、2冊目の企業における育成・チームビルディング、そして今回の3回目は侍ジャパンの優勝に何が起きていたかを交えて白井一幸氏の在り方・生き方も盛り込まれている1冊。これまでになく手に取りやすいサイズ感で、文中の見出しも文章も簡潔。1冊目を引用したりと、振り返りをしながら白井氏の侍ジャパンでの在り方が手に取るようにわかりやすく書かれてある。野球、会社、仕事、人生、家庭などの多岐にわたる内容の根底には、自分の人生のゴールは何か、そのためには、といった気づきに導かれる構成に一気に引き寄せられるバイブル的な著書。

